

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項による。

2. 練習について

競技の練習は補助競技場及び投てき競技場で行うこと。特に投擲練習については、監督の付き添いのもと危険防止に努めること。本競技場での練習は、8時30分までとする。

なお、感染予防防止の観点から室内練習場は使用禁止とする。

3. 招集について（招集場所は各々競技開始場所とする。）

- ① **第1コールは、不参加および棄権がある場合のみ**、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までにT I C（3階中央）へ届け出ること。
- ② 第2コール（最終コール）の時刻には選手本人は競技開始場所に待機し、アスリートビブスを見せ確認を受ける。コールに遅れた者は棄権とみなす。
- ③ 代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に2種目以上の競技に出場するものはあらかじめ、そのことをT I C（3階中央）に申し出ること。
この場合、早く開始される競技の招集は決められた時間に行うこと。

競技種目	招集完了時刻
トラック競技	10分前
フィールド競技	30分前

4. アスリートビブスについて

出場選手は、アスリートビブスを胸背部につける。なお走幅跳・走高跳は胸背部のいずれか一方だけでもよい。腰ナンバーは小学生と800mのみ招集時にスタート場所で受け取り両腰横につける。

6. 競技について

- ①トラック競技は全て写真判定（全自動電気計時装置）を使用する。
- ②スターターの合図は「On Your Marks」「Set」とする。
ハードル種目以外はスタート前はブロックセットのみとする
（スタート練習は行わない）
- ③800mについてはグループスタートで行う。
（ただし男子の1組はセパレートで行う。）
- ③フィールド競技は3回試技後、記録上位者8名により残り3回を行う。

7. 使用器具について

競技場備え付けのものを使用する。但し、やりについては規定のものであれば使用してもよいが、競技開始前に現場で検定を行うので申し出ること。

8. 競技用靴について

WA改定規則143条（TR5）を適用する。

9. その他

- ①競技用靴スパイクのピンの本数は11本以内、長さは、9mm以下、フィールドの走高跳・やり投げのみ12mm以下とする。
- ②競技進行をスムーズに行うため、トラック競技においての選手紹介のアナウンスは行わない。また、スタート準備においても前組がスタート後、速やかに行い前には出ないこと。(ハードル種目のみ許可)
- ③競技結果については熊本陸協ホームページに掲載する。

URL <http://www.kumariku.com>

- ④競技場・駐車場の開門時間は7:00からとする。また、競技場周りは駐車禁止とし、駐車は役員は投てき場横調整池を使用すること。

(弁当のヒライ側、墓地横から出入りすること)

大型バス、マイクロバスは第3ゲート後、陸上競技専用駐車場に駐車をお願いします。
役員以外は運動公園一般駐車場に駐車をお願いします。

一般注意事項

- (1) 新型コロナウイルス対策については、日本陸上競技連盟のガイドラインおよび熊本陸上競技協会のガイドラインに沿って実施するのでHPをご覧ください。
- (2) エレベーターの使用については、競技運営上支障が生じるので競技役員以外の使用はできません。
また、7階のトイレ使用は7階の競技役員のみとし一般の使用は禁止する。
- (3) 競技者以外、トラック周囲への立ち入りは禁止する。
- (4) 応急手当を要する場合、及びその他の健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、医務室を利用することができる。
- (5) 競技場内での疾病、傷害については応急手当のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
- (6) 感染防止対策の観点から、すべての応援は拍手のみで行うこと。また、スタンドにおける集団応援は禁止する。観戦も間隔を空けて座るなどソーシャルディスタンスを心がけて行うこと。
- (7) 個人情報の本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
 - ① 大会プログラム掲載
 - ② 電光掲示板・掲示板等への掲載
 - ③ 競技結果の報道機関・報告書等への掲載
 - ④ 報道機関が撮影した写真・映像の公開